

第1回そばづくりリスト技能検定埼玉大会開催の概要

NPOそばネットジャパンは、直轄開催として第1回目となる「そばづくりリスト技能検定埼玉大会」を開催しました。

まずは、この日のために稽古を積まれて見事合格された受検者にお祝いを申し上げますとともに、惜しくも不合格となられた受検者にはこのチャレンジを今後の糧として次回の合格を目指してください。

昨年、9月に「そばづくりリスト検定基本規程」等技能検定制度施行に必要な諸規程を理事会で議決成立して以来、12月6日(日)には団体正会員主催としては初めてとなる「沼田そばの会」主催の「第1回そばづくりリスト技能検定会in沼田」が開催され、初段から三段まで32名が認定されましたが、そばネットジャパン直轄としては初めての大会であり、その概要について以下のとおり報告します。

- 1 開催期日 令和3年1月15日(金)～17日(日)
- 2 会場 埼玉県県民活動総合センター
- 3 主催 NPOそばネットジャパン
- 4 検定段位 初段、二段、三段、四段
- 5 募集人員 当初募集定数は各日1組8名、4組32名(コロナ禍での最大人数として設定)2日間で64名としましたが、応募者が98名となり急遽準備日として確保していた15日(金)を検定日に追加しました。
- 6 受検者数 15日(金) 初段4名、二段3名、三段5名、四段15名 計27名
16日(土) 初段4名、二段6名、三段14名、四段7名 計31名
17日(日) 初段2名、二段4名、三段5名、四段12名 計23名
応募総数は98名でありましたが、緊急事態宣言の発布により高校生6人が学校の指示により辞退、その他家庭の事情等で受検者総数は合計81名となりました。

① 新型コロナウイルス感染防止対策について

まず、開催日の7日前に開催会場となる埼玉県を含む1都3県を対象に再度の緊急事態宣言が発出されましたが、夜間8時以降の外出自粛や飲食を伴う会合の自粛、飲食店の時短要請などが主で、イベント等については宣言前と変わらず「施設定員の半数以下で感染防止対策を講じること」とあり、県有施設である埼玉県県民活動総合センターも予約済みの施設の貸し出しは継続するとしています。

この技能検定会の開催については日程も含めて6月開催の定時総会の事業計画で承認されており、受検を希望している会員は合格を目指して準備を進めてきていて、受検予定者からは検定会開催の強い希望が寄せられていることなどから、当法人理事会は「感染防止対策より強化して開催する。」こととしました。

○ 当初からの感染防止対策

ア 使用施設で定められた定数の2分の1以下、特にメインとなる検定会場(定数210名)は3分の1以下として、3密状態をつくらない。

検定時に受検者間の間隔は3メートル以上を確保し、全ての部屋の窓開放などの換気を図る。受検者、スタッフ全員、来場時に手指の消毒、体温測定(37.5度以上は帰宅させる。)、マスクとフェイスシールドを着用する。

イ そば打ち台や鉢などの共用道具は組ごとに消毒し、各室の出入りには手指の消毒を

する。

○ 強化した感染防止対策

ア 賛助会員によるそば道具販売を中止し、その部屋(定数 120 人)を開会式、成績発表、閉会式会場として受検者の密集を避け、屋食は弁当とし、テーブル間隔を空けて会話を避けて摂る。(別に、女性控室(定数 15)、男性控室(定数 45 名)、スタッフ控室(定数 63 名)、材料準備室(定数 15)、大会本部(定数 15)を確保している。

イ 受検者は自らの試技以外は受検会場内で検定を見学することとし、控室での会話を避ける。

② 今回の技能検定会実施方法の特色

ア 基本的には段位別に組み分けをすることが望ましいが、コロナ禍での制約された中で 1 組当たりの人数、組数が限られていること、さらに、そばづくり技能検定会受検を待ち望んでいた多くの受検希望者の期待に添えるため、2 種の段位で組が構成されることを認めたものです。(初段と 2 段が同一組など)

イ 技能検定員の検定能力向上のためには、実地の経験を積むことが重要であり、そのため、現在任命されている 40 名の技能検定員のうち 25 名を検定員として指定し、5 班に分けて実施しました。

ウ 技能検定実施要項に基づき、客観的検定基準として定められた、切り残し量の測定(全段位)、延し厚の測定(三段、四段)を検定員でなく測定員を指名して行いました。

エ 練習用そば粉等の斡旋

NPO 法人そばネット埼玉主催での全麵協段位認定会では、練習用粉は主催者として製粉業者から購入して販売していましたが、今回、より受検者の経費負担軽減を図るため、製粉業者の配慮をいただき「受検者特別価格としてそば粉 1k700 円(税抜き)」で業者直販としましたが、大変好評でありました。

③ 検定結果の概要

全段位 45 分の時間であり、受検者は比較的落ち着いて試技をして、それぞれの課題に応じた技能を発揮し、初段、二段、三段は全員合格、四段位は 32 名受験で 3 名の不合格が出ましたが、切り残し量の規準オーバーが主因であり、粗挽き 10 割という課題の難しさが顕著に表れたといえます。

※ 段位認定者はホームページを参照してください。

④ 画像で紹介

	
<p>受検者、検定員、スタッフ全員がマスク、フェイスシールド着用です。(主催者が配布したのはマスク、シールド一体型が目立ちません。)</p>	<p>そばネットジャパンで推奨しているバンピー麵棒(樹脂製のエンボス棒)の方も多く見られました。</p>



1 束切りが終わったところで延し厚の測定です。8枚たたみで18mm以下が基準です。



2 束目をキッチンペーパーに置き、検定員がそばの長さ(R部分)と切りそろえの確認をします。切り揃え率は各検定員の平均値としました。



開会、成績発表、閉会式は並ばずに間隔を空けて着座で開催しました。



段位ごとの合格者代表に段位認定証が授与されました。

⑤ 第1回技能検定会を終えて

- ◇ 先ずは、今までに体験をしたことのないコロナ禍での開催にも関わらず多くの受検者にチャレンジしていただき、さらに、多くの技能検定員、スタッフが感染防止に最大の気配りをしながら携わっていただいたことに心から感謝をいたします。
- ◇ スタッフの皆さんは NPO 法人そばネット埼玉で15年にわたり全麵協段位認定会を経験してきた方々であります。そばづくり検定制度は誕生したばかりで今までとは異なった検定方式で一抹の不安もありました。しかしながら、正に検定員、スタッフがワンチームとなって極めて円滑に運営されたことは、今後の技能検定会の発展、ひいてはそばネットジャパンの躍進につながる輝かしいスタートとなったと確信しています。
- ◇ 新型コロナウイルス感染拡大を治めることは容易ではなく、当分は、政府も掲げている感染防止対策を講じながら社会・経済活動を進めていくことにならざるをえないのは明白で、「with コロナ」としての新しい生活様式を模索していかなければなりません。
- ◇ 今回の大会は、非常事態宣言中の開催であり当然賛否はありますが、決して感染拡大の現状を軽視するものではなく、今できる限りの知恵を出し合い、何とか事業を動かしていくことで、「アフターコロナ」を迎えたその時には一気にアクセルを踏み込むことが可能となるのではないのでしょうか。
- ◇ 今回の感染防止対策の強化が実際に機能したかの結果の判断をするのは早計ですが、安全に配慮しながら少しずつでも前に進んでいくための知恵と努力を会員が丸となって取り組んでいくことが大切であり、その積み重ねがNPOそばネットジャパンの明るい未来を切り開いていくものと信じております。

NPOそばネットジャパン 代表理事 阿部成男